

毎月30日は「たいとう食ハピDay」

令和元年10月1日に「食品ロス削減の推進に関する法律」が施行され、毎年10月30日が「食品ロス削減の日」と定められたことにちなみ、台東区では、毎月30日を「たいとう食ハピDay」として食品ロス削減のための取り組みを推進する日とします。
※食品ロスとはまだ食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。

食品ロスがなくなって、作る人も食べる人も、みんながハッピーになる日。それが「たいとう食ハピDay」
例えばこんな取り組みはいかが？



毎月30日は、お買い物に行かないDay!

今日はお買い物に行かないで、家にあるものを工夫して料理します！
お中元やお歳暮、旅行のお土産などでいただいたけれど、なかなか食べる機会がなかった缶詰や瓶詰。安いからとたくさん買いすぎて、残ってしまっている乾麺。冷蔵庫の片付けをして、奥の方に残っていた食品も活用。いろいろ工夫して、家にある食材だけで料理に挑戦します！意外な食材の組み合わせで、絶品料理が生まれるかも？
食べてもらって食品もよろこぶ。節約にもなってハッピー！

毎月30日は、野菜果物まるごと食べるDay!

野菜や果物の皮など、普段は意識しないで捨てていることが多いけれど、今日はなるべく、まるごと食べることにします！

区のホームページ(右記QRコードから閲覧可能)では、食材を無駄なく使うエコクッキングのレシピも紹介しています。

おいしいうえに栄養たくさんで、体もよろこぶ。生ごみも減ってハッピー!
※皮ごと食べる際には、よく洗ってからにしましょう。また、一部ですが体に有害な場合もありますので、事前によく確認して無理せず行いましょう。



食品ロス削減レシピに
チャレンジ! Part1



食品ロス削減レシピに
チャレンジ! Part2



毎月30日は、絶対に食べ残しをしないDay!

食べ残しはよくないとわかっていても、ついお店で注文しすぎたり、料理を作りすぎてしまったり。でも今日だけは「絶対に食べ残しをしない!」と宣言します!

「絶対に食べ残しをしない」と決めてしまうと、自然に頼みすぎに注意したり、料理を作るときも分量を考えたりするようになります。

そのうちに、自分や家族の食べる量を考える癖がついて、いつも残さないようになれるはずです!

食べ残しがなくなれば、料理を作ってくれた人も、お皿を洗う人もハッピー!

自分流にアレンジしてもOK 毎月〇〇日は「わたしの食ハピDay」

例えば・・・ 給料日前に節約も兼ねて、毎月14日は「食費ゼロDay」でハッピー!
子供と一緒に料理に挑戦したいから、第4日曜日は「我が家のエコクッキングDay」でハッピー!
などなど、自分が無理せずできるスタイルで、楽しみながら取り組んでみてくださいね!



食品ロスを削減するには、一人ひとりが継続して取り組むことが大切です。

毎月30日だけ気を付ければ良いということではなく、毎日が「たいとう食ハピDay」になるように、皆さんが食品ロス削減に取り組み、継続していくためのきっかけとしてみてくださいね。

「たいとう食ハピDay」は、皆さまからの公募で生まれた名称です。445人の方からのご応募があり、区で選考の結果、区立蔵前小学校4年 針生真成さんが考えた名称に決まりました。「食べ物のロスがなくなって、作る人も食べる人も幸せになれるように!!」という思いで名付けてくれたそうです。今後は、この名称を使って、楽しみながら続けられる食品ロス削減の取り組みを進めていきます。

他にも素敵な名称がたくさんありました。考えてくださった皆さま、どうもありがとうございました。
応募者の方への粗品の発送は、令和4年1月中頃を予定しています。